

SSS024-01

会場:301A

時間:5月27日 09:15-09:30

深発地震と浅発地震の連鎖傾向

The chain reaction tendency of a deep-focus earthquake and the shallow-focus earthquake

平道 富作士^{1*}

Fusashi Hiramichi^{1*}

¹ 平道設備設計

¹Hiramichi equipment design

経緯

2003.7.26 宮城沖・9.26 十勝沖地震の直前に深発地震が四日程度の間にも多発していた事に気が付きました。深発地震と浅発地震との関連について調査を始めました。調査を続けていく中で2004年中越地震や2006年11月千島列島地震、2008年茨城沖、2009年静岡沖でも周囲で同様な傾向(深発地震多発)があることを発見した。

仮説:

プレート潜り込み線上で発生する【深発地震】と、その後続の【浅発地震】には連鎖傾向がある

1. 深発地震の発生場所によって、特に影響を受けやすい地域があるのではないか
2. また、深発地震の発生するプレートの潜込み位置と1.の関係はどうか
3. 上記1. 2. で一定の相関関係がないか

検証:

1. 深発地震発生場所に対応する浅発地震の発生地域の偏りの有無について
2. 深発地震の発生するプレートが潜り込んだと思われる地域で起きた地震と1.の関係について
3. 上記2. で確認できた地域について相関関係の有無について

5. 検証方法

1. プレート境界(深発)地震を緯度・経度・深さで抽出しそこから5日間以内にプレート潜り込み線上で発生した浅発地震の発生率を求めた。(公式)
2. 上記と同じ条件(期間・緯度・経度・深さ)の全ての浅発地震を抽出し平均発生率を求めた。(公式)
3. 上記1. と2. を比較する

公式:

深発地震発生後5日間の浅発地震平均発生率(発生回数/日)

= 深発発生後の浅発地震数 ÷ (深発数 × 5日)

平時の浅発地震発生率(発生数/日) = 同じ範囲の総浅発地震数 ÷ (延べ日数)

比較倍率 = ÷

キーワード: 深発地震

Keywords: deep-focus earthquake